

各分野における平成27年度の取組実績について

- 1 農業分野 1ページ
- 2 林業分野 2ページ
- 3 水産業分野 3ページ
- 4 商工業分野 4ページ
- 5 観光分野 5～6ページ
- 6 住宅分野 7ページ

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
指標 新規就農者数 基準値 5人/年(H26) 目標値 10人/年(H27) 実績値 17人(H27)	基盤整備・防災	◆農業生産基盤の充実 ・県防災減災事業 基幹水利施設補修事業費負担金排水機場施設整備【江見・吉原排水機場】 ・物部川統合堰整備事業 ・烏川流域、香宗川流域、山北川流域堰整備事業 ・農業基盤整備促進事業【岩田堰袋体据付】 ・工業用水道整備事業【測量設計:水路3路線・農道1路線、水路工事:1路線】 ・農業集落排水整備(上岡地区集落道改良他道路、水路工事)【水路2路線】	・排水機場施設整備【江見排水機場:電気工事完了】 【吉原排水機場:県の予算により28年度予定】 ・物部川統合堰【残っている幹線水路の調査等】 ・烏川統合堰【測量設計完了】 ・農業基盤整備促進事業【岩田堰袋体据付は予算の範囲内でゴム袋体の据付を完了】 ・工業用水道整備事業【測量設計:4路線、西中筋6水路工事:1路線】 ・農業集落排水整備(上岡地区集落道改良他道路、水路工事)【水路2路線】	遅れている	・事業全般、要望金額よりかなり減額されており、事業計画がかなり延伸している。 ・物部川、烏川統合堰につきましては、老朽化が進み早めに対応が必要。 ・事業全般、要望金額よりかなり減額されており、事業計画がかなり延伸している。 ・要望の箇所の同意に難航している。 ・要望どおりの予算がなく事業が延伸している。
		◆防災への対策 ・農村災害対策整備事業【香南南部:避難タワー】 ・排水機場耐震機能診断(耐震機能診断及び補強工事) ・重油流出防止付装置燃料タンク整備事業【流出防止燃料タンク19基】	・農村災害対策整備事業【県と地元地権者と用地交渉】 ・排水機場耐震機能診断(耐震機能診断及び補強工事)【H28以降】 ・重油流出防止付装置燃料タンク整備事業【流出防止燃料タンク19基】	遅れている	・県に要望等行っていき、利用者に理解してもらう。 ・県へ要望していくことと、現施設の維持管理を十分に行っていく。 ・関係機関と協力し取り組んでいく。
	経営改善・担い手	◆担い手対策の促進 ・園芸用ハウス整備事業【4件】 ・園芸用ハウス復旧支援事業【4件】 ・次世代施設園芸モデル事業【1件】 ・新規就農研修支援事業【4人】 ・青年就農給付事業【10人】 ・経営所得安定対策推進事業 ・農地中間管理事業【5件】 ・環境制御技術導入加速化事業【34件】	・園芸用ハウス整備事業【4件】 ・園芸用ハウス復旧支援事業【0件】 ・次世代施設園芸モデル事業【1件】 ・新規就農研修支援事業【2人】 ・青年就農給付事業【2人】 ・経営所得安定対策推進事業【2901戸1089ha】 ・農地中間管理事業【2件】 ・環境制御技術導入加速化事業【34件】	達成	・園芸用ハウス整備事業において、新規就農者の補助率の見直しを検討。
		◆農産物のブランド化の推進と加工品の開発 ・産業振興推進総合支援事業 ・エメラルドメロン ニラ	・産業振興推進総合支援事業【エメラルドメロン販売額(清算金額)406,113千円】 【ニラ販売額1,100,247千円】	概ね順調	・炭酸ガス濃度等ハウス環境と生育データを集積し、栽培管理を検討し収量、品質の向上を図る。 ・日本一のニラ産地の維持及び拡大に向けた仕組みの構築を目指す。
		◆消費者の安全安心志向への対応 ・地産地消推進協議会補助事業 ・環境保全型農業推進事業【3部会】 ・信頼される産地づくり支援事業【150検体】	・地産地消推進協議会補助事業【給食センターにて36%市内野菜等の使用率】 ・環境保全型農業推進事業【3部会】 ・信頼される産地づくり支援事業【150検体】	達成	・給食で使用される野菜の中で、香南市内での栽培が少ないため収穫量の確保が課題である。 また、市内野菜の使用率が拡大するように栽培から保存方法までを検証し取り組んでいく。
	中山間	◆農地の保全と活用の促進 ・中山間地域等直接支払交付金事業の推進 ・多面的機能支払交付金事業の推進	・中山間地域等直接支払交付金事業の推進【8地区】 ・多面的機能支払交付金事業の推進【10地区】	概ね順調	・協定数を増やすため、引き続き未協定地区で説明会を開催していく。 ・一部の組織で要望事業(資源向上活用「長寿命化」)が国費がつかず、実施することができなかったため、県へ引き続き要望していく。
◆有害鳥獣被害対策 ・有害鳥獣被害に対する対策事業		・有害鳥獣被害に対する対策事業【鳥獣被害対策実施隊42回出動(延べ50人)】 【捕獲数 イノシシ232頭、シカ105頭、カラス他229羽】 【有害鳥獣被害防止事業27件 延長8,340m】	概ね順調	・関係機関と協力し、事業活用できるよう周知を行う。	

平成27年度の実績【林業分野】

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
指標 基準値 目標値 実績値 森林境界明確化面積 188ha(H26) 600ha以上 (H26~H31の累計) 97.4ha(H27)	基盤整備 森林資源保全 木質バイオマス	◆森林の多面的な利活用の促進 ・緊急間伐総合支援事業 【切捨間伐(5ha)】 【保育・搬出間伐(57ha)】 【作業道整備(3,300m)】	【切捨間伐(0ha)】 【保育・搬出間伐(15ha)】 【作業道整備(1,880m)】	遅れている	計画どおり進めているが、同意が得られず規模が縮小となったため、事業を理解してもらい同意者を増やしていく対策が必要。
		・林道道路側溝整備事業 林道畑山・奥西川線側溝土砂撤去及び路面清掃【L=8,273m】	林道畑山・奥西川線 側溝土砂撤去【L=1,000m】 路面清掃 【L=8,273m】	概ね順調	側溝の清掃は費用が高額となるため、特に対応が必要な区間を優先して行い、小規模な部分は別途対応する予定。 来年度は、城山・羽尾線を予定している。
		・森林整備地域活動支援事業 【森林経営計画作成促進(203.75ha)】 【施業集約化(10ha)】 【条件整備(224.97ha)】	【森林経営計画作成促進(81.51ha)】 【施業集約化(5ha)】 【条件整備(76.05ha)】	遅れている	計画どおり進めているが、同意が得られず規模が縮小となったため、事業を理解してもらい同意者を増やしていく対策が必要。
		・森づくり交付金事業【購入費の一部を補助】 高性能林業機械等整備事業 ①【スイングヤーダ】1台 ②【プロセッサ】1台	①【スイングヤーダ】1台 ②【プロセッサ】1台	達成	香美森林組合の事業要望については、負担額によっては事前協議も必要な場合もあるが、できる限り意向に沿うよう協力していく。
		・水源の森整備事業(全額県費) 【搬出間伐(5ha)】	【搬出間伐(5ha)】	達成	継続事業であるので、引き続き実施していく。
		◆森林の活用			
		・木質バイオマス利用促進事業	平成22年に木質バイオマスボイラー-【施設園芸用】を2台導入。これまで各年度ごとの事業によるCO2削減量の実績をJA土佐香美より報告してもらい、中央東林業事務所へ提出している。	概ね順調	現在まで問題もなく利用しているが、今後は耐用年数の問題等もあり利用者との協議が必要。
		・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会事業	【協議会での検討課題】 ◎木質バイオマス供給対策 ①燃料となる原木の収集・安定供給 ②県産木質ペレット自給率向上に向けた生産体制 ◎利用促進対策 ①焼却灰の有効利用 ②バイオマスボイラーの低価格化や焼却効率の向上について協議	概ね順調	重油の下落により新たな木質ペレットボイラーの需要が無いのが現状。 今後は、事業実施市町村と連携するなど情報交流して課題解決に取り組む必要がある。

平成27年度の取組実績【水産業分野】

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
指標 沿岸漁業総生産量 基準値 1,313ト(H26) 目標値 1,200ト以上維持(H27) 実績値 1,086ト(H27)	改修整備・経営基盤強化	◆水産機能施設の整備 ・上架施設維持向上のため船台車輪と高圧洗浄機の取替(吉川漁港) ・荷捌所の衛生管理向上のためハト駆除を試験的に実施(赤岡漁港) ・漁具倉庫への防鳥ネットの設置(吉川漁港)	・老朽化による不具合の解消、施設の機能維持 ・ハトの捕獲による、フン害の軽減 ・〃	概ね順調	・漁業用施設の機能保持のための継続的な改修、整備の実施 ・一定の効果は見られたが、フン害の解消までは至っておらず、継続又は新たな対応策を検討 ・荷捌所の衛生管理の向上
		◆漁港施設の整備 ・赤岡漁港導流堤の保全工事、-3.5m航路の浚渫工事 ・吉川漁港沖防波堤、吉川漁港海岸離岸堤の災害復旧工事 ・吉川漁港-2.0物揚場(北)の保全工事 ・吉川漁港導水施設の保全工事、浚渫工事 ・住吉漁港灯浮標補修工事 ・河川海岸高潮対策事業(岸本海岸離岸堤の設置) ・吉川漁港護岸(東)、船揚場(4)の測量、調査、設計	・赤岡漁港の機能保全 ・吉川漁港沖防波堤、離岸堤の復旧 ・吉川漁港-2.0物揚場(北)の機能保全 ・吉川漁港導水施設の機能保全 ・住吉漁港の機能保全 ・岸本海岸離岸堤の設置 ・保全工事に向けた調査、測量、設計の実施	達成	・漁港施設の保全、長寿命化の推進 住吉漁港東防波堤保全工事 吉川漁港-1.5m物揚場(北)保全工事 赤岡漁港3号導流堤の保全工事 河川海岸高潮対策事業(岸本海岸離岸堤の設置) 県管理港湾、漁港、海岸事業の要望の継続
		◆新規漁業就業者の確保 ・現在研修中の研修生への継続支援	・赤岡地区の新規就業希望者への技術研修支援	概ね順調	・漁業の担い手の減少や高齢化 新規就業者の確保
		◆漁場の保全 ・手結地区での藻場保全事業の実施(5回 ウニ駆除、魚類駆除) ・赤岡・吉川地区での掃海事業の実施(2回)	・手結地区の藻場の再生化(ウニ駆除数18,420匹・魚類駆除38匹) ・赤岡・吉川地区沖合の環境保全(実施数2回)	概ね順調	・効果的な事業実施のための組織強化 藻場の再生状況の適切な検証 母藻の設置 ・掃海事業の効果的な実施を図るための実施時期や作業方法の再検討
		◆漁業者の所得向上 ・操業効率化を図るため衛星通信機器の整備、保守管理(県漁協手結支所) ・操業効率化を目的としたエンジンリース事業の実施(県漁協手結支所) ・産業振興計画推進水産部会での所得向上に向けた協議(1回)	・適切な維持管理による通信料の節約、漁場探索時間の短縮等、操業効率の向上 ・燃油消費量の削減(リース件数1件) ・水産部会においてシラス漁業における様々な問題点、課題が話し合われ、今後の取組への指針となる	遅れている	・補助事業終了 ・沿岸漁業者設備投資促進事業への要望継続 ・加工技術の向上及び販路の拡大 シラス漁の沖止め削減対策 シラスの鮮度保持の徹底
		◆観光漁業の推進 ・観光地曳き網案内板の設置	・観光地曳き網案内板を1基新設した	遅れている	・地引き網や釣り船等多角的な漁業経営の支援 観光、農業等関係機関との連携 情報発信の強化
	生産・加工・流通・販売	◆水産加工品流通販売の促進 ・小中学校での食育授業実施、学校給食での地場水産加工品の活用 シイラ加工品の納入(19回) ・小学生を対象とした体験学習の実施(地引き網体験、魚の三枚下ろし)	・学校給食への加工品の納入(19回) ・体験学習を通じた次世代の地場漁業への理解の向上	遅れている	・水産加工品の新たな事業化(シラス) ・市外への販路拡大 ・食育活動の拡充 ・水産物ブランドの確立 ・鮮度保持の向上

平成27年度の取組実績【商工業分野】

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
指標 基準値 目標値 実績値 製造品出荷額等 407億円(H26速報値) 500億円以上(H27) 419億円(H26)	ものづくりの基盤整備	◆香南工業団地整備事業 ・分譲済…3社 山本貴金属・精工(26年度) 第十工業(27年度) ・分譲予定…1社 ・未分譲…1区画(約1.6ha)	・1社(第十工業)と分譲契約を行い、平成27年11月着工、平成28年3月24日操業を開始した。 ・精工は、平成28年1月に着工した。(同年12月完成予定)	概ね順調	・残り1区画について、県企業立地課と連携し、早期完売を目指す。
		◆香南工業団地企業立地促進事業 ・土地購入費用の10%を補助	・操業を開始した上記企業に対して補助金を支出。	概ね順調	・引き続き立地企業への支援措置を行う。
	ものづくり・商業支援	◆既存企業の育成・支援 ・香南市香我美町立地企業交流会(10/14)及び香南市ものづくり会(11/9)を開催し、企業同士の交流や行政との情報交換を実施した。 ・産業人材育成事業【新規】 市内に事業所がある事業者等を対象に公的団体が主催する研修を受講する際の補助制度を作った。 ・未来人材育成奨学金支援事業【新規】 大学等を卒業後香南市に住所を置き、市内の事業所に従事する者を対象に卒業後8年間、奨学金返還金の助成制度を作った。	・立地企業交流会及びものづくり会を通して、行政と企業、また企業同士の横のつながりが深まった。 ・産業人材の育成及び奨学金返還金助成について、分野別部会で出された意見や要望が具現化された。	概ね順調	・立地企業交流会及びものづくり会を定期的に開催し、交流及び情報交換を行う。 ・補助制度を周知し、活用していただく。
		◆魅力のある商業地・商店街づくり ・香南市地域経済活性化委員会において、商工会が取り組む新たなポイントカード事業と行政が行う各種事業(検診など)との連携について検討してきた。(9/8、9/22、10/22開催)	・関係者と協議を重ねた。	遅れている	・香南市地域経済活性化委員会において、ポイントカード事業の導入に向けて、引き続き検討を行う。
		◆空き店舗等の活用 ・事業承継や既存事業所の経営状況の把握、空き店舗対策(実態把握及び活用策)等を実施する「経営発達支援計画」を作成したが、国の認定が下りていない。	・計画作成に尽力した。	遅れている	・経営発達支援計画によらない、県補助制度を活用した空き店舗調査及び空き店舗改修の実施に向けて、商工会と検討を行う。
◆創業支援 ・地域の創業を促進させるため、市区町村が民間の創業支援事業者(地域金融機関、商工会等)と連携して、ワンストップ相談窓口の設置や創業セミナーの開催等の創業支援を実施する「創業支援事業計画」を作成中。(創業準備事業者は、開業に係る経費に対して、国から補助金を受けられる)	・計画作成に尽力した。	遅れている	・創業支援事業計画の認定に向けて、引き続き作業を行う。		

平成27年度の実績【観光分野】

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
指標 観光施設入込客数 基準値 93万人(H26暦年) 目標値 100万人以上(H27暦年) 実績値 100.3万人(H27暦年)	核となる観光拠点の整備	◆三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ事業 ・検討委員会の開催…6回 (7/1,8/17,10/19,12/1,2/29,3/18)	・平成26年度に出てきた3つの基本構想をさらに磨き上げ、イメージ(アスレチック及び食を満喫)を資料にとりまとめた。	概ね順調	・平成27年度に三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討委員会にて、磨き上げの構想が完成したが、シャトー三宝の活用について具体的な検討ができていない。今後は、運営主体となる企業との協議やシャトー三宝の耐震診断等を実施していく。
		◆ヤ・シィパーク周辺地域活性化事業 ・検討委員会の開催…5回 (6/5,8/3,9/29,10/29,2/12) ・ヤ・シィ特産品(氷菓等)製造・販売施設整備事業 高知県産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、施設・設備等を整備	・夜須駅前ロータリー及び駐輪場を整備した。 ・特産品を活用した氷菓や焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備した。	概ね順調	・7月のオープンに向けて、広報・営業活動の実施。 ・イベント等の実施による集客。 ・催事出店やネット販売など販路拡大。 ・旬の地域食材を活用した季節ごとの目玉商品の開発。
	広域観光の推進	◆歌舞伎でまちおこし ・市川海老蔵公演(9/15~16) ・小中学生対象の歌舞伎出前講座を実施 ・市民対象の歌舞伎ワークショップを開催	・市川海老蔵公演には、約1,200人が来場。 ・出前講座は2回実施(参加者のべ35名) ・ワークショップは17回実施(参加者のべ235名)	概ね順調	・引き続き出前講座、ワークショップを開催する。 ・歌舞伎体験等の観光メニューの開発。
		◆観光施設連絡会 ・会議の開催…7回(7/8,9/4,10/7,11/17,12/16,2/4,3/18)	・課題の洗い出しや施設間の情報共有及び連携強化が図られた。 ・イベント情報を各施設のホームページに掲載している。	概ね順調	・引き続き定期的に会議を開催する。 ・H29からの幕末維新博に向けて、観光クラスター形成を図る。
		◆活性化に向けたあらゆる産業との連携の強化 ・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業 (「香南まるごと旨市」カタログ販売) 市内事業者の商品をカタログやネットで販売。また、カタログの商品をふるさと応援寄附金の返礼品として活用しているため、「福袋コース」等、魅力的な返礼品の開発に取り組んだ。 ・地域まるごと旅行商品の開発販売及びブランドオペレーター機能構築事業 旅行商品及び体験ツアーを企画・販売し、エージェントへのプロモーション活動を実施した。	・「香南まるごと旨市」カタログ販売に35事業所(2015秋冬号)が参加。 ・H27年度売上実績(1,884件、12,850千円) ・長谷寺座禅ツアー(参加者延べ55名) ・二つを120%楽しむ体験モニターツアー(参加者延べ25名) ・梅雨を楽しむあじさいツアー(参加者5名) ・第4回土佐塩の道トレイルランニングレース前日イベント(講習会)(参加者17名) ・第4回土佐塩の道トレイルランニングレース(出走182名) ・「B列車で行こう」ツアー(参加者35名) ・サンセット・シーカヤックツアー(参加者延べ7名)	概ね順調	・ふるさと応援寄附金事業とタイアップし、販売額増加につなげる。 ・地域素材を使った旅行商品の開発及びエージェントに対するプロモーション活動を行い、交流人口の増加を図る。

平成27年度の取組実績【観光分野】

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
		<p>◆物部川地域3市での観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川流域フェスタ(9/27)を開催 ・物部川広域観光活性化プロジェクトがスタート(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・19店舗が出店。入込客数約5,000人。 ・地域経済活性化支援機構(通称:REVIC)及び四国銀行が出資して造成した「高知県観光活性化ファンド」活用し、観光資源の磨き上げ及び観光地としての魅力の底上げを行い、南国市、香美市、香南市の3市での観光振興を図る。 ・物部川地域における観光客の動向などのデータ収集及び分析を行い、ターゲットの明確化及びターゲットに特化した施策を検討中。 	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・物部川流域フェスタ(9/25予定)のイベント内容を充実させ、集客増加につなげる。 ・6月30日には、観光資源を活用した地域の交流促進及び観光経済の拡大を目的として、物部川流域に関連する地方公共団体、地域公益団体、事業者、金融機関及び教育機関等で組織する「物部川DMO協議会」が設立予定。オール物部川体制で広域周遊観光の促進を図る。
		<p>◆サイクリング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング専門委員会を設置し、サイクリングコースの設定作業がスタート(1/15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロードの整備に向けて検討中。 ・既存の安芸自転車道(香南市管内)については、県へ舗装の補修を要望し、工事を実施。 	遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトを持ったコース設定(食・歴史・景観等) ・県及び関係市町村との連携 ・サイクリング拠点の洗い出し
		<p>◆国際観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のいち駅に5カ国語の観光案内板を整備した ・英語版観光パンフレットを作成した 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の受入体制が整いつつある。 	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客が無料で利用可能なWi-Fi環境を整備し、外国人観光客の満足度を高める。(のいち駅、絵金蔵、弁天座、サイクリングターミナル、ヤ・シィパーク、天然色市場)

平成27年度の実績【住宅分野】

達成・概ね順調・遅れている

数値目標	戦略の柱	具体的な取組	具体的な成果等	評価	課題及び対策(今後の取組)等
—	住環境の整備 (住宅リフォーム)	◆住宅リフォーム補助金制度 ・市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用の20%(上限20万円)を補助。	・申込78件 【内訳】上限20万円(24件)、10万円以上(22件)10万円以下(32件) ・交付額9,762,000円 ・市内業者に施工してもらうことで、地域経済の活性化及び市民の生活環境の向上が図られた。	達成	・28年度も引き続き住宅リフォーム補助金制度の周知を図り、市民に利用していただくよう広報活動として、チラシの全戸配布・市ホームページでの掲載。 ・4月1日より募集開始し予算額は1千万円。ただし、予算額を超えた場合については、抽選。 ・市内施工業者の紹介については、市が業者の斡旋をおこなっていないので、高知県建設労働組合香南支部に協力を依頼する。
	市営住宅の整備	◆市営住宅の整備 ・長寿命化型の事業 改良住宅8戸の屋根外壁改修工事を実施。 ・居住性向上型・福祉対応型の事業(改良住宅) 単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に変更するとともに住戸内に手すり等を設置。 ・市営住宅単独事業 老朽化した改良住宅14戸の除去工事を実施。	・改良住宅8戸の屋根外壁改修工事が完了した。 ・10戸に合併処理浄化槽と手すりを設置した。 ・老朽化した改良住宅14戸の基礎を残して除去が完了した。	達成	・香南市市営住宅管理計画(香南市公営住宅等長寿命化計画)に基づき、公営住宅及び改良住宅の長寿命化型・福祉対応型・居住性向上型・安全性確保型の改善事業を実施する。
	住宅の耐震化	◆南海トラフ地震への備え ○耐震診断 ・住宅耐震診断事業 木造住宅…診断費用の自己負担3千円 非木造住宅…3万円補助 ○耐震改修設計及び改修 ・住宅耐震改修費補助事業 香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助。(設計1棟あたり経費の2/3上限205千円、改修1棟あたり上限1,000千円)	・耐震診断件数 113件 ・耐震改修件数 109件 ・南海トラフ地震対策が進んでいる。	概ね順調	・今後も啓発を継続し、耐震化を進める。
	空き家対策 (移住促進)	◆老朽化した住宅等の除去 ・老朽住宅等除却事業 避難路等に面しており、倒壊により避難路を閉塞する可能性のある著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助を行う。(補助率80% 上限1,645千円) ◆移住者向け住宅の確保と促進 ・空き家を活用した移住施策の検討	・27年度新規事業として始め、23件の実績があった。 ・人口減少や空き家の多い中山間地域対策として、平成28年度からの空き家活用施策(中間保有住宅)を作ることができた。 ・移住促進に係る補助制度を作った。 (住宅取得(条件あり)、荷物整理・処分、引越し費用など)	概ね順調	・今後も継続して事業を行う 【28年度の取組】 ・香我美町の東川・西川地区と夜須町の北部地区の中山間地区をモデル地域として空き家を活用した移住促進に取り組む。 ①住む場所の支援 具体方法として、市がモデル地域の空き家を所有者から10年間借り上げ(中間保有)改修し、移住希望者に転貸する。 ②補助金での支援 【今後の課題】 ・活用可能な空き家の確保とモデル地域以外、香南市全体を対象とした空き家活用計画と施策が必要。 ・移住者(U・I・Jターン)を取り込むための市としての独自施策(子育て・教育・就労・介護支援等)に加えて、近隣市町村と連携した広域的な取組が必要。